

作成日 2024年 10月 23日

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5093

課題名 : 「当院におけるぶどう膜炎原因疾患、臨床経過、予後の疫学調査」

### 1. 研究の対象

2011年4月1日から2024年3月31日に当院にてぶどう膜炎と診断され、治療を受けられた方

### 2. 研究期間

学校長承認日 ~ 2027年3月

### 3. 情報の利用を開始する予定日

利用開始予定日 : 2024年11月20日

### 4. 研究目的

ぶどう膜炎は眼内炎症の総称であり、その原因は多岐にわたります。そのため、原因疾患を同定できないぶどう膜炎は約半数にのぼりますが、原因疾患を同定し、適切な診療を施すことは、視力予後の改善に最も大切です。かつては、サルコイドーシス、続いてVogt-小柳-原田病、ベーチェット病が最も多い原因疾患であり、我が国における3大ぶどう膜炎と呼ばれていました。しかし近年、社会、生活様式の変化に加え、加速度的に進行している少子高齢化によりぶどう膜炎の原因疾患にも変動がみられています。サルコイドーシス、Vogt-小柳-原田病は以前として第一位、二位に多い原因疾患であります。好発年齢が青壮年期のベーチェット病は減少し、高齢者に多い感染性ぶどう膜炎、悪性リンパ腫が増加しています。今回私たちは、防衛医大眼科を受診し、ぶどう膜炎と診断された患者さんの原因疾患、臨床経過、視力予後について後ろ向きに調査し、より適切な治療を施すための要因について検討することを目的としました。

### 5. 研究方法

2011年4月1日から2024年3月31日の間にぶどう膜炎と診断された患者さんの医療記録を参照し、統計学的な解析を行います。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

医療記録に記載されている年齢、性別、病歴、視力、眼圧、眼所見、血液生化学データ、処方薬、外科的治療、副作用等の発生状況 等

### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 研究組織

研究責任者

眼科学講座 教授 竹内 大

研究分担者

眼科学講座 准教授 佐藤智人

#### 9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受け、たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

#### 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院眼科 竹内 大

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2333） 平日 9時から 17時まで

masatake@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院眼科 竹内 大